

所得創出とソーシャル・ヘルスサービスの提供 および子ども・成人・高齢者の健康増進



Indonesia / インドネシア

氏名 Yayat Hidayat ヤヤット (22期)

所属団体 光の地域福祉財団

新型コロナウイルスのパンデミックによって所得を減らした人びとに、農業や牧畜、手工芸等の機会を提供しました。また、子どもから高齢者までを対象に、ソーシャル・ヘルスサービスを提供したり、ストレス・マネジメントを行ったりしました。

所属組織の概要

所属する「光の地域福祉財団」では、低所得家庭の所得向上の取り組みを行っています。また、子どもから高齢者までを対象とした社会サービスの促進を行っています。

事業の目的

畜産業者や農村家族、失業者の所得を増やすことを目的とします。

また、子どもから高齢者までを対象としたソーシャル・ヘルスサービスの提供等を通して、健康増進することを目的とします。



健康について考えるキャンペーンの実施

活動地域

西ジャワ州スメダン県チマラカ郡シティムン村およびチアンジュール県カラントゥンガ郡マレベル村で実施しました。

シティムン村の総面積は2.13km²、人口は5,696人、人口密度は0.5人/km²で、人口のほとんどは農民です。

マレベル村の総面積は214ヘクタール（うち91ヘクタールは湿地）で、人口は15,181人です。



対象者

シティムン村では5名の畜産業者、5名の米作農家、40名の子ども、10名の高齢者を対象としました。マレベル村では、40名の子ども、50名の成人、40名の高齢者、10名の失業者を対象に行いました。

事業の成果

- ・羊飼いへの支援をすることで、畜産業者の所得が向上しました。利益は施設と分けましたが、その利益から自分の羊を持つことができました。
- ・農村家族に田を貸し、そこでできた米を販売しました。利益を施設と分けることで、農村家族の所得が増えました。
- ・失業者は服の縫製事業や手工芸で所得を増やすことができました。
- ・つくった服や肥料、手工芸品等をお売ることができました。
- ・子どもから高齢者まで、多くの世代がソーシャル・ヘルスサービスを受けることができました。
- ・事業対象者は催眠療法によってストレスを管理できるようになりました。



羊飼いへの支援



縫製訓練の様子

実施内容

2022年2～3月

関係者との調整

2022年3～4月

地元資源の査定（ミシンの指導者、手工芸訓練を実施するための指導者、材料、催眠療法士、コミュニティ・ヘルス・センター）

2022年4月

関係者ミーティング

2022年4月

高齢者、成人向けの手工芸訓練実施

2022年5月

唐辛子の植え付け訓練

2022年6月

失業者に服の縫製訓練を実施

2022年5月～2023年3月

稲の植え付け訓練実施

2022年4月～2023年3月

服の製作、牧畜、手工芸品製作

2022年4月～2023年3月

市場調査、販売促進活動実施

2022年4月～2023年3月

子どもから高齢者までを対象としたコミュニティ・ヘルス・センター活動実施

2022年4月～2023年3月（毎週）

宗教活動やスポーツなどの高齢者向けのソーシャル・サービスを実施するとともに、必要な支援を実施

2022年2月～2023年3月（毎週）

催眠療法活動の実施

2022年2月、5月、8月、11月

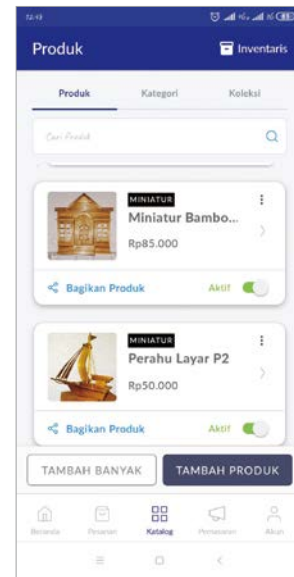
関係者ミーティング

2022年1月、3月 2022年4月、12月 2023年3月

モニタリング・評価会議

2022年11月以降

対象地域であるチアンジュール県が、11月のインドネシア・ジャワ島西部地震で被害を受けたため、支援活動を実施



手工芸品販売のオンラインサイト



地震被災者への支援

今後の展望

- ・手工芸品のマーケティングは比較的容易なため、手工芸品の訓練プログラムをより発展させていきたいと考えています。しかし、そのためには金銭面での多くのサポートが必要です。
- ・催眠療法は高齢者や青少年の身体的・精神的健康の改善に非常に効果的なため、一層発展させていく必要があります。
- ・対象地域であるチアンジュールで、2022年11月に地震が発生しました。そのため、急遽、被災者への支援をしました。食料や衛生施設が限られた避難所で生活をしているため、引き続き支援をしていく必要があります。

収支報告

<収入>

項目	金額 (円)	内 訳
全社協からの助成金	281,756	
自己資金	203,844	
Darul Iman Amaliah 財団資金	136,000	
その他 (助成金、寄付金)	160,000	
売上	139,200	固形廃棄物、羊、手工芸品、米、縫製品、有機肥料
合 計	920,800	

<支出>

項目	金額 (円)	内 訳
関係者との調整等	24,800	
手工芸訓練	48,000	謝金 12,000 円(1名×1か月) 材料 12,000 円 ミシン 24,000 円
高齢者・失業者向け訓練	36,000	謝金 16,000 円(6 か月) 材料費 20,000 円
牧畜 (羊)	88,000	羊小屋 40,000 円(2ユニット) 羊 48,000 円(3匹)
米作	56,000	肥料 16,000 円 運営費 40,000 円
ヘルスサービス	120,000	保健衛生官 40,000 円(のべ10回) 栄養食品 80,000 円(400パック)
催眠療法	40,000	10 か月間
高齢者向けソーシャルサービス	80,000	50 人×2 回
その他	148,000	会議室代等 39,200 円 スタッフ手当 96,000 円(1名×8か月) 文房具 12,800 円
地震被災者への支援	280,000	ユニセフからの衛生キット配布、米、 麺、ミネラルウォーター、テント、毛布
合 計	920,800	

注) インドネシアルピア (IDR) で提出された報告をもとに日本円に換算して表記
換算レート: 1インドネシアルピア = 0.008 円 (送金時 (2022年3月25日) の為替レート)